

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、21人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。
(一)内には、各党派等からの質問申し出時間を記載していません。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	6人	370分
公明党	5人	215分
誠友会	4人	195分
市民連合	2人	150分
新政クラブ	1人	90分
日本共産党	2人	130分
無所属	1人	30分

*一般質問の録画放送をインターネットで視聴することができます。(詳細は下段)



こばやし 小林 茂裕
水曜会
(60分)
QRコード

水産業の振興は

問

①かつて本市は、瀬戸内海で有数の漁獲高を誇っていた。本市だけでなく瀬戸内海全域で水産物の資源量や漁獲量が減少しているとの報道があるが二十数年前と現在の本市および広島県、瀬戸内海の漁獲量の状況は、
②海の再生への取り組みは、

答

①中国農林水産統計年報で公表されている1980年代と2010年代の平均漁獲量は、本市においては9800トンから18000トンに82%減少、広島県は3万2200トンから1万7100トンに47%減少、瀬戸内海は43万3千トンから15万8千トンに64%減少している。
②芦田川からの栄養塩の適正な供給も重要と考える。今後も環境と漁業に好影響を与えられるような河口堰の弾力的放流の回数や放流量のさらなる増加に向け、引き続き国や関係機関と協議を進める。



つるいたけふみ 連石 武則
水曜会
(60分)
QRコード

環境美化活動は

問

本市の仙酔島や内海町のクレセントビーチ海浜公園等は県東部屈指の海水浴場で、市民の憩いの場として親しまれている。海洋ごみが世界的に問題視される中、本市の周辺海域等でもごみの拡散が問題となっているが、現状認識と今後の対応は、

答

地域ボランティアによる清掃活動が実施されているが、ごみの量は非常に多く、喫緊の課題と認識している。県は今年度、令和32年までに瀬戸内海に流出する海洋プラスチックごみをゼロにすることをめざし、本市も参画する「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットホーム」を設立した。こうした取り組みに合わせ、本市は漁協等と連携し海浜ごみ等の回収などを行ってきたが、今後は環境の日などの機会を捉え、市民・事業者が参加しやすい清掃活動のイベントも検討する。



きよだ 喜田 紘平
水曜会
(60分)
QRコード

福山駅周辺の路上喫煙の禁止は

問

①市民への周知、啓発は、
②過料を徴収する場合の考えは、
③喫煙所の設置は、

答

①禁止区域等について広報紙やホームページ等あらゆる媒体を活用して発信し、表示看板の設置や路面表示も行う。条例施行後はパトロール等の啓発活動を行う。

中小企業振興基本条例は

問

条例制定に向けた考えは、

答

行政や産業支援機関、経済団体、事業者等それぞれが果たすべき役割をしっかりと理解する中で議論を進めることが必要と考える。

*12月定例会の一般質問の録画放送を視聴する場合
各議員記事のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画が視聴できます。
また、[福山市のホームページ](#) → [福山市議会](#) → [議会中継](#) → ここからも視聴できます。